

(西暦) 2020年 2月 26日

副腎腫瘍、腎臓腫瘍、後腹膜腫瘍の治療のため当院に入院されていた患者
さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>泌尿器科学教室</u> 職名 <u>教授</u> 氏名 <u>大家 基嗣</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>
実務責任者	所属 <u>泌尿器科学教室</u> 職名 <u>講師</u> 氏名 <u>松本 一宏</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、研究責任者（大家基嗣）または実務責任者（松本一宏）までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦2009年12月1日より2019年12月31日までの間に、泌尿器科にて副腎腫瘍、腎臓腫瘍、後腹膜腫瘍の治療のため入院し、単孔式およびReduced Port腹腔鏡手術を受けた方

2 研究課題名

単孔式およびReduced Port腹腔鏡手術の手技、安全性および有用性についての検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室・慶應義塾大学病院泌尿器科

4 本研究の意義、目的、方法

泌尿器科領域において、腹腔鏡手術は良性および悪性の腎・副腎疾患をはじめ、前立腺癌や膀胱癌等、現在広く用いられている標準術式の1つです。近年、さらなる整容性の向上と侵襲の軽減が期待される新たな術式として、単孔式腹腔鏡手術が登場しました。欧米を中心に報告が増加している単孔式腹腔鏡手術ですが、日本においても当院をはじめ急速に普及してきており、その安全性と有用性についての実態を把握する必要があります。ご協力頂けた患者様の年齢、各種診察所見、検査所見を収集し、統計学的に解析を行います。

5 協力をお願いする内容

ご協力頂けた患者様の受診時の診療録を閲覧させていただきます。本研究のために追加の診察・検査を行うようなことはございません。

6 本研究の実施期間

西暦 2015 年 2 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究責任者	所属 <u>泌尿器科学教室</u> 職名 <u>教授</u> 氏名 <u>大家 基嗣</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>
実務責任者	所属 <u>泌尿器科学教室</u> 職名 <u>講師</u> 氏名 <u>松本 一宏</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>

以上